

平成31年 玉野市教育委員会 会議録（概要）

I 期 日： 令和元年8月6日（火） 於：第1委員会

II 開会時間： 13時30分
閉会時間： 16時00分

III 出席委員： 教育長 石川 雅史 教育長職務代理者 野田 洋二
委 員 大川 佳郎 委 員 妹尾 恵美
委 員 加藤 正枝

IV 欠席委員： 一

V 出席者氏名： 学校教育課長 住田 義広 学校教育課課長補佐 川淵 玉美
教育サポートセンター事務長 妹尾 均 学校教育課主幹 栗本 明德
（書記） 山内 祐樹 学校教育課主査 高木 文彦

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 経過報告
（事務局） 要項に沿って説明

3. 答申
（選定委員長） 答申を行い、選定委員会での協議の概要を説明。

4. 採 択

(事 務 局) 協議方法、選定委員会の具体的な協議内容について説明

(1) 国語について

(委 員) 総合的に見ていくと光村図書がふさわしいように感じた。

(委 員) 選定委員の報告にあった「言葉の宝箱」とはどういうものか。

(事 務 局) 教科書の最後に言葉による見方、考え方を働かせることができるように工夫されている。語彙増やし、表現を豊かにする工夫がされている。

(委 員) 高学年の教科書は分冊と1冊のものがあつたが、どうか。

(事 務 局) 選定委員の中では、高学年は学習を見通すためにも1冊の方がよいのではという意見が出ていた。

(教 育 長) 光村図書でいいか？

(委 員) 賛成する。

(教 育 長) では光村図書を採択する。

(2) 書写について

(委 員) 東京書籍の「書写のかぎ」とはどういうものか。(教科書を見て確認)

(委 員) 教科書のサイズは確かに東京書籍が大きいサイズである。児童が使うのにはいいサイズではないか。

(教 育 長) 東京書籍でいいか？

(委 員) 賛成する。

(教 育 長) では東京書籍を採択する。

(3) 社会について

(委 員) 日本文教出版は岡山県の内容が多く扱われており、使用するのにふさわしいと感じた。

(委 員) 自然災害についての扱いについてどんな話が出ていたか。

(事 務 局) 自然災害の様子だけでなく、その災害に関わる人物も掲載されており、より深く考えることができるのではないかという話が出ていた。

(委 員) 玉野市が進めるキャリア教育の視点に立って考えると、どういったところによさを感じたか。

(事 務 局) 未来のプランを立てていくページがあり、キャリア教育につながるのではないかという意見が出ていた。

(教 育 長) 日本文教出版でいいか？

(委 員) 賛成する。

(教 育 長) では日本文教出版を採択する。

(4) 地図について

(委 員) QRコードはどのように使うのか。

(事 務 局) タブレットを活用し、教室の大型モニターに映して活用することも考えられる。

(委 員) 紙質や光沢なども、児童の見やすさにつながってくるのではないかと。

(委 員) 防災マップについてはどうか。

(事 務 局) ハザードマップを見て考えるものと、自分たちで防災マップを作っていく視点でつくられているものとの違いがあった。

(教 育 長) 帝国書院でいいか？

(委 員) 賛成する。

(教 育 長) では帝国書院を採択する。

(5) 算数について

(委 員) 全ての教科書を比較したが、内容はどれもよかった。しかし、教科書の見やすさ、読みやすさを考えると啓林館が一番よかった。分数÷分数、分度器に使い方などにつまずく児童が多いが、一番わかりやすく示されていた。キャラクターの言葉にも意味があり、子どもの思考を助ける手助けになっていると感じた。問題数のバランスもよかった。

(委 員) QRコードも実際に試してみるとわかりやすい。

(委 員) 見やすさだけでなく、指導内容の部分も岡山県や玉野市が進める授業の流れに沿っているのではないかと。

(教 育 長) 啓林館でいいか？

(委 員) 賛成する。

(教 育 長) では啓林館を採択する。

(6) 理科について

(委 員) 科学的な思考を高めるための工夫はどういったところにあるか。

(事 務 局) 東京書籍には「理科のミカタ」というコラムが設けられており、思考を高める助けになるのではという意見が出ていた。

(委 員) 教科書のサイズは大きいですが、その大きさをうまく使ってあるので、文章が多すぎるという感じはしない。

(委 員) QRコードの記載についてはどうか。(教科書を比較しながら協議)

(委 員) タブレットを上手に活用できれば効果的ではないかと。

- (教 育 長) 東京書籍でいいか？
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では東京書籍を採択する。

(7) 生活について

- (委 員) 比較したときにどんな話題が出ていたか。
(事 務 局) 教科書の大きさや写真の掲載の仕方等について話し合われた。低学年の児童にとって扱いやすい教科がよいのではないか。
(委 員) あさがおの種、生長の様子は東京書籍の示し方が工夫されており、児童にとってわかりやすく表されている。
(教 育 長) 東京書籍でいいか？
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では東京書籍を採択する。

(8) 音楽について

- (委 員) それぞれのページを見ていくと見通しをもつことが重要視されている。楽しむだけでなく、見通しをもつことも大切であり、そういった点も重要になる。ユニバーサルデザインの観点からも教育芸術社がよいのではないか。
(教 育 長) 教育芸術社でいいか？
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では教育芸術社を採択する。

(9) 図画工作について

- (委 員) 日本文教出版の報告には入学前や卒業後の内容も扱われているとあるが、どういった点か。
(事 務 局) 1、2年生の教科書には最初に就学前にどんな活動をしていたかを振り返るページが設けられている。5、6年の下の教科書の最後には「中学生のあなたへ」ということで図画工作の学びのよさを中学校で生かしていくためのメッセージが載せられている。振り返りとしては充実している。
(委 員) 片付けについての記載についてはどうか。(教科書で確認)
(教 育 長) 日本文教出版でいいか？
(委 員) 賛成する。
(教 育 長) では日本文教出版を採択する。

(10) 家庭について

- (委員) 内容としては甲乙付けがたいが、記載の特徴はどういったところにあったか。
- (事務局) 調理の工程がパターン化されていたり、片付けまで掲載されているのは東京書籍であった。それぞれの教科書を比較し、写真の大きさや見やすさ等も議論されていた。
- (委員) 補充的な学習や発展的な学習、家庭での自主的な学習が促されているとはどういった点か。
- (事務局) どの単元も3つのステップで進んでいる。右端に発展的な内容が取り上げられているページもある。
- (教育長) 東京書籍でいいか？
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では東京書籍を採択する。

(11) 保健について

- (委員) 岡山県や玉野市が進める岡山型学習指導のスタンダードの流れに沿っているのは学研であるということだがどういったところか。
- (事務局) めあて、まとめが示されており、学習の流れが統一されているところがポイントとなっている。
- (教育長) 学研教育みらいでいいか？
- (委員) 賛成する。
- (教育長) では学研教育みらいを採択する。

(12) 英語について

- (事務局) 教科書によって英語の分量、課題等の量が違う。授業のユニバーサルデザインの視点から、本市の子どもたちにとってふさわしい教科書を選定していただきたい。
- (委員) そういった点では子どもたちにとってはスモールステップで学習を進められるものがよいと思うが、どういった点がスモールステップなのか。
- (事務局) 5年生から書く活動が行われるが、なぞり書き、写し書きといったように段階をおって指導するようになっているのが特徴である。
- (委員) 啓林館が教えやすいのではないかと感じたが。
- (事務局) 全体的に見ていくと見やすさや統一感はあるが、全体的に英語の分量が多いという意見が出ており、三省堂が一番ふさわしいのではないか

という話になっていた。

- (委 員) 英語の分量の多さは内容の文字数や書く部分が多いということか。
- (委 員) 分量よりもやることが多いイメージがある。
- (委 員) 内容が多く、全てを扱っていく上では負担感があるのではないか。
- (事 務 局) 啓林館と三省堂を比較すると、書く活動の練習が多く設けられているところに違いがある。
- (教 育 長) 三省堂でいいか？
- (委 員) 賛成する。
- (教 育 長) では三省堂を採択する。

(13) 道徳について

- (委 員) 前回の採択から使用して2年目だが、変わった点はあるか。
- (事 務 局) 前回の採択の際にはノートの活用について議論されていた。今回も別冊になっているものと1冊ものものがあるが、どの教科書も工夫、改善がされていた。
- (委 員) 教材の配列についてではなく、内容面が一番のポイントになってくる。内容面の充実、問いの設定の仕方など、学習活動の工夫の面から考えると東京書籍がよいのではないか。
- (教 育 長) 東京書籍でいいか？
- (委 員) 賛成する。
- (教 育 長) では東京書籍を採択する。

(14) 中学校教科書採択について

- (事 務 局) 令和元年度においては、「道徳」を除き、令和2年度に使用される中学校教科用図書の採択替えが行われる年度だが、平成30年度検定において新たな教科用図書の申請がなかったため、基本的には前回の平成26年度検定合格図書等の中から採択を行うこととなっている。4年間の使用実績を踏まえ、平成27年度採択における選定結果の内容をもとに検討いただきたい。
- (教 育 長) 使用実績を踏まえ、現在使用している教科書を採択してよいか。
- (委 員) 賛成する。
- (教 育 長) 以上で教科書採択を終了する。

5. 閉会

